

答 市民と行政がまちづくりの問題意識と方向性を共有し、協働によるまちづくりを定めるものであり、まちづくりの基本指針を定める条例となるものです。行政資源が限られる中で、多様化、高度化する市民ニーズに応えていくためには、市民一人ひとりが持つ多様な力を引き出し、結集させた「市民力」をまちづくりへ向けた「地域力」として活かしていくことが必要であると認識しています。

協議会に加盟して、新たな財政支援措置を行うよう国において交付税算定の見直しが検討されているところであります。今後も国政・県政の動向を注視し、引き続き関係機関と連携を強化しながら、国・県に対して要望活動をしていきたいと考えています。

は沿ってどのよしなで夕をどういう手法で公開していくのか、国や先進自治体の動向を注視しながら検討していくかと考えています。

問 空き家対策についての取り組み状況は。

答 平成20年住宅・土地統計調査の結果によると、本市の空き家数は1,770棟と、住宅総数1万4,160棟の12・5%を占めています。直近の25年調査の結果はまだ公表されていませんが、調査員からは空き家が多いという声が複数聞かれ、人口減少、少子・高齢化を背景に、管理の十分でない空き家の増加が懸念されています。また、空き家に関する相談・苦情等の件数は、現在は年

政治姿勢

一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針等をただすものです。

3月定例会では、3月13日と14日に一般質問が行われ、通告順に6名の議員が質問に立ちました。主な質問と答弁を要約し掲載しました。

なお、質問・答弁の詳細は、「匝瑳市議会会議録」をご覧ください。

3月定例会

市政に関する 一般質問

財源の確保が厳しい状況になることが見込まれていることから、新たな行政改革大綱を作成しなければならないと考えています。この策定の中で、行政改革推進委員会の意見を伺うとともに、パブリックコメントにより市民の声が反映されるよう配慮し、財政健全化計画を策定していきたいと考

答 旧飯高等学校施設は、千葉県立特別支援学校となるが、開設の準備は、
小・中学部36人から小・

問 北埼市にいつまでも住んでいたい、他の市町村から北埼市に住みたいと思ふ施策とは。



解体撤去された旧飯高小学校体育館

問 当市においてもクニ
ウドファンディングを活
用すべきと考えるが。
答 平成28年度からの今
併算定替えの縮小に伴う
地方交付税の減少により、
財政状況は厳しくなるこ
とが予想されることから、
新たな財源確保は重要課
題であると考えており、
クラウドファンディングは、
新しい形の資金調達
方法であり、さまざま
利点があると思いますが、
全国でも例が少なく、東
として事業化する環境な
のか、今後調査・研究を
していきたいと考えてい
ます。

財政

からは「匝瑳市に住んでみたい」といわれるまちづくりであり、マニフェストに掲げた施策を一つひとつ着実に実現することで匝瑳市の魅力を高め、定住と転入を促進してきました。子育て支援関連の施策では、中学生3年生までの入院・通院の保険診療分について、自己負担なし、所得制限なしで助成を行う「子ども医療費の無料化」や、18歳未満の子どもが3人以上いる家庭を対象に、第3子以降の保育料を無料化する「保育料の減免」をはじめ、「子どもを産み育てやすい環境の整備を積極的に進め、転入促進対策としては、匝瑳市の魅力を全国にPRすることに加え、転入者の住宅

取得に最大70万円の奨励金を交付する「転入者マイホーム奨励金交付事業」を転入の動機づけ、誘導策の柱に据え、空き家の情報提供を行う「定住促進空き家バンク事業」とあわせ、施策推進の強化を図っています。

問 PPS、特定規模電気事業者の活用による電気料金の削減についての見解は。

答 PPSの活用で電気料金を下げる所以であれば積極的に活用していくこと考えておりますが、契約施設によつては、東京電力と業務用電力契約の場合、PPSから供給によるメリットが生じないケースもあるとの報告も受けており、今後、PPSの電気供給価格を注視し、市における契約施設での東京電力の電気料金と比較しながら、調査・研究をしていきたいと考えています。